

ブラジルの政策金利の引き下げについて

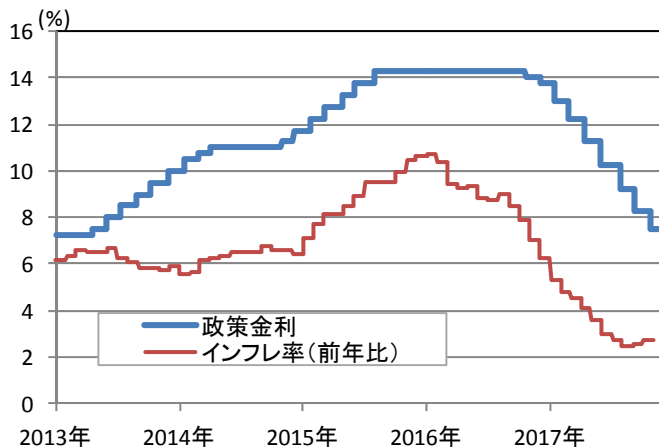
2017年12月6日（現地時間）、ブラジル中央銀行は、COPOM（金融政策委員会）において、Selic（政策金利）を0.5%引き下げ、年率7.00%とすることを決定しました。

内容は市場の事前予想通りとなりました。前回10月の会合では引き下げ幅を0.75%に縮小し、段階的に緩和ペースを落としていくことが示唆されましたが、今回の会合でも、国内景気の回復基調とともにインフレ率が緩やかに上昇しつつある状況などを背景に、小幅な利下げが決定されました。

会合後の中央銀行の声明では、経済状況が見通し通りに推移すれば、今後更に緩和ペースを落とすことが適当であることも示唆されました。

一方、ブラジル国内では社会保障など構造改革の行方や政治情勢などに不透明感があり、これらが景気や物価へ与える影響などを慎重に考慮する必要があると認識されている模様です。また、政策金利は2016年10月以降、累計7.25%引き下げられ、過去最低水準となっており、今後は緩和サイクルの終了時期も見据えて、慎重に金融政策を調整していくものと思われます。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移
 (2013年1月1日～2017年12月6日)



ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2017年5月31日	10.25	-1.00
2017年7月26日	9.25	-1.00
2017年9月6日	8.25	-1.00
2017年10月25日	7.50	-0.75
2017年12月6日	7.00	-0.50

* 政策金利: Selic を使用。

* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータよりBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社作成

本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料はBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が上記の時点で作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。